

調査番号 0768

調査名 暮らしと生活設計に関する調査(中・高年パネル調査) Wave1 5, 1997-2005

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。

※あなたの年齢をお知らせ下さい。

		歳
--	--	---

◆◆あなたのお住まいについてお伺いします。◆◆

**Q1. この2年間(平成15年12月～平成17年11月)で、引越しをしたことがありますか。
引越しをしたことがある方は、この2年間の引越し回数もご記入下さい。**

1 ある → () 回 2 ない → Q2(2ページ)へ

→ **SQ1-1. 現在のお住まいに移ってこられたのはいつですか。**

平成 ____ 年 ____ 月

→ **SQ1-2. 今のお住まいに移られた理由を次からお選び下さい。(いくつでも)**

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 あなたの結婚・再婚や離婚のため | 6 親の仕事の都合で |
| 2 子どもが生まれたため | 7 あなたの老後を考えて |
| 3 あなたの就職・転職や転勤のため | 8 親の扶養・介護のため |
| 4 家・マンションを購入したため | 9 その他 () |
| 5 配偶者の仕事の都合で | |

→ **SQ1-3. あなたの現在のお住まいはどれでしょうか。**

- | | | |
|------------------------|--------------|-------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 3 賃貸住宅 | → Q2(2ページ)へ |
| 2 持ち家
(マンションなど集合住宅) | 4 給与住宅(社宅・寮) | |
| | 5 その他 () | |

→ **SQ1-4. どなたの名義ですか。(いくつでも)**

A. 土地	1 自分	2 配偶者	3 親	4 子ども	5 その他 ()
B. 家屋	1 自分	2 配偶者	3 親	4 子ども	5 その他 ()

→ **SQ1-5. その土地、家屋を取得されたのはいつですか。**

A. 土地	昭和・平成(いずれかに○)	年
B. 家屋	昭和・平成(いずれかに○)	年

→ **SQ1-6. どのようにして土地、家屋を取得されましたか。**

A. 土地

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 相続したもの | 4 一部親から資金援助を受けて購入した |
| 2 相続したものを売って買い替えた | 5 すべて自力で購入した |
| 3 贈与を受けた | 6 その他 () |

B. 家屋

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 相続したもの | 4 一部親から資金援助を受けて購入した |
| 2 相続したものを売って買い替えた | 5 すべて自力で購入した |
| 3 贈与を受けた | 6 その他 () |

◆◆あなたが経験された出来事についてお伺いします。◆◆

Q2. この2年間(平成15年12月～平成17年11月)で、あなたは、次にあげるa～jの出来事をご経験されましたか。それぞれについて、あなた自身のご経験の有無と、ご経験がある場合は、その時期(複数ご経験された場合は最も近い時期)をお答え下さい。

出来事	経験の有無	時期
a. 結婚 (再婚を含む)	1 ある → 2 ない	平成 年 月
b. 配偶者との離別	1 ある → 2 ない	平成 年 月
c. 配偶者との死別	1 ある → 2 ない	平成 年 月
d. 病気・けが (手術や入院を要するもの)	1 ある → 2 ない	平成 年 月
e. 配偶者の病気・けが (手術や入院を要するもの)	1 ある → 2 ない	平成 年 月
f. あなたの勤め先の倒産、又は あなたがやっている事業の破産	1 ある → 2 ない	平成 年 月
g. あなたの勤め先からの解雇 (一時帰休等は除く)	1 ある → 2 ない	平成 年 月
h. 火事	1 ある → 2 ない	平成 年 月
i. 地震、水害などの天災	1 ある → 2 ない	平成 年 月
j. 海外での暮らし (一年以上)	1 ある 2 ない	

◆◆あなたの就学歴についてお伺いします。◆◆

Q3. この2年間(平成15年12月～平成17年11月)で、あなたは、高校、専門・専修学校、短大・高専、大学、大学院について、入学、卒業、中退のご経験はありますか。

1 ある	2 ない → Q4 (3ページ)へ
------	-------------------

→ SQ3-1. 入学、卒業、中退の区分について、あてはまる番号に○をつけ、その時期をご記入下さい。(いくつでも)
その学校の種類についても、あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 入学した (平成 ____年 ____月) →	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1 高校</td> <td>4 4年制大学</td> </tr> <tr> <td>2 専門・専修学校</td> <td>5 大学院修士・博士課程前期</td> </tr> <tr> <td>3 短大・高専</td> <td>6 大学院博士課程後期</td> </tr> </table>	1 高校	4 4年制大学	2 専門・専修学校	5 大学院修士・博士課程前期	3 短大・高専	6 大学院博士課程後期	
1 高校	4 4年制大学							
2 専門・専修学校	5 大学院修士・博士課程前期							
3 短大・高専	6 大学院博士課程後期							
2. 卒業した (平成 ____年 ____月) →	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1 高校</td> <td>4 4年制大学</td> </tr> <tr> <td>2 専門・専修学校</td> <td>5 大学院修士・博士課程前期</td> </tr> <tr> <td>3 短大・高専</td> <td>6 大学院博士課程後期</td> </tr> </table>	1 高校	4 4年制大学	2 専門・専修学校	5 大学院修士・博士課程前期	3 短大・高専	6 大学院博士課程後期	
1 高校	4 4年制大学							
2 専門・専修学校	5 大学院修士・博士課程前期							
3 短大・高専	6 大学院博士課程後期							
3. 中退した (平成 ____年 ____月) →	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1 高校</td> <td>4 4年制大学</td> </tr> <tr> <td>2 専門・専修学校</td> <td>5 大学院修士・博士課程前期</td> </tr> <tr> <td>3 短大・高専</td> <td>6 大学院博士課程後期</td> </tr> </table>	1 高校	4 4年制大学	2 専門・専修学校	5 大学院修士・博士課程前期	3 短大・高専	6 大学院博士課程後期	
1 高校	4 4年制大学							
2 専門・専修学校	5 大学院修士・博士課程前期							
3 短大・高専	6 大学院博士課程後期							

→ SQ3-2(3ページ)へ

→ SQ3-2. その学校でのあなたの主たる専攻学科は何ですか。

1 文学系	6 教養系	11 芸術系
2 教育系	7 理学系	12 その他 ()
3 法学・政治学系	8 工学系	13 特にない
4 経済学・経営学系	9 医学・歯学・薬学系	
5 社会学系	10 体育系	

Q4. この2年間(平成15年12月～平成17年11月)で、あなたは、新たに資格を取得されましたか。

1 新たに資格を取得した 2 取得していない → Q5へ

→ SQ4-1. あなたが新たに取得された資格をお選び下さい。(いくつでも)

1 医師、歯科医師	10 弁理士	20 不動産鑑定士
2 薬剤師	11 司法書士	21 理容師・美容師
3 歯科衛生士、歯科技工士	12 行政書士	22 情報処理技術者
4 臨床検査技師	13 社会保険労務士	23 2種以上の運転免許 (タクシーやバス等の営業用運転免許)
5 社会福祉士、介護福祉士	14 中小企業診断士	24 英検(2級以上)
6 ヘルパー(2級以上)	15 証券アナリスト	25 簿記(2級以上)
7 栄養士、調理師	16 公認会計士	26 その他 ()
8 教員	17 税理士	
9 弁護士	18 建築士	
	19 宅地建物取引主任者	

◆◆世帯についてお伺いします。◆◆

Q5. 現在、同居している(同じ敷地内に住んでいる)人数は、あなたご自身を含めて合計何人でしょうか。(入院されている方も含めてお答え下さい。)

1 1人(自分だけ) → Q7(4ページ)へ
2 2人以上 → ()人

→ SQ5-1. あなたと同居している方は、次のうちどなたですか。(いくつでも)

1 配偶者	5 あなたのお母様	9 祖母
2 子ども	6 配偶者のお父様	10 孫
3 子どもの配偶者	7 配偶者のお母様	11 その他 ()
4 あなたのお父様	8 祖父	

Q6. 同居している方の中で、現在介護が必要な方がいらっしゃいますか。

1 いる 2 いない → Q7(4ページ)へ

→ SQ6-1. 介護が必要な方は次のうちどなたですか。(いくつでも)

1 配偶者	5 あなたのお母様	9 祖母
2 子ども	6 配偶者のお父様	10 孫
3 子どもの配偶者	7 配偶者のお母様	11 その他 ()
4 あなたのお父様	8 祖父	

→ SQ6-2. 主にどこで介護をされていますか。(いくつでも)

1 あなたのお宅	3 病院	5 その他 ()
2 あなた以外の親族等のお宅	4 老人施設	

→ SQ6-3. 同居の方の中で、中心となって介護に携わっておられる方はどなたですか。

1 あなたご自身	5 あなたのお父様	9 祖父
2 あなたの配偶者	6 あなたのお母様	10 祖母
3 子ども	7 配偶者のお父様	11 孫
4 子どもの配偶者	8 配偶者のお母様	12 その他 ()

◆◆配偶者（妻）についてお伺いします。◆◆

Q7. 現在、配偶者（妻：事実婚や内縁を含む。以下同じ）がいらっしゃいますか。

1 いる 2 いない → Q 8（5ページ）へ

→ SQ7-1. 配偶者の健康状態は次のうちどの状態に近いですか。

1 健康	3 あまり健康でない
2 どちらかといえば健康	4 健康でない

→ SQ7-2. その配偶者の方は、2年前（平成15年12月1日）と同じ方ですか。

1 同 じ → Q 8（5ページ）へ
2 違 う

→ SQ7-3. あなたの配偶者は、次のどれにあたりますか。

1 長女 2 長女以外

→ SQ7-4. 配偶者の年齢（何年何月生まれですか）

昭和 年 月生 平成17年12月1日 現在：満 歳

→ SQ7-5. 配偶者とは、いつご結婚されましたか。

平成 ____年 ____月

→ SQ7-6. 配偶者と同一の戸籍に入っていますか。

1 入っている 2 入っていない（事実婚、内縁）

→ SQ7-7. 配偶者の最終学歴（中退を含む）を次の中からお選び下さい。

1 中学	4 短大・高専
2 高校	5 4年制大学
3 専門・専修学校	6 大学院

→ SQ7-8. 配偶者と知り合ったきっかけは、次のうちどれに近いですか。

1 親・きょうだいの紹介	5 学校で知り合った
2 その他親族の紹介	6 職場で知り合った
3 職場の人の紹介	7 上記以外のグループ・サークルで知り合った
4 上記以外の人紹介	8 それ以外で知り合った

◆◆お子様についてお伺いします。◆◆

Q8. お子様はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は人数をご記入下さい。

1 いる → (人)	2 いない → Q9へ
--------------	-------------

→ SQ8-1. 次の表のa~eの項目(性別、年齢、就学・就業状況、配偶者の有無、同居か別居か)に関して、お子様お一人ずつ(第一子、第二子、…など)についてご記入下さい。

年長順	a. 性別		b. 年齢 (平成17年 12月1日 現在)	c. 就学・就業状況 (お子様お一人につき、 1~8のいずれかに○)								d. 配偶者の有無		e. あなたとの同居	
	男 性	女 性		未 就 学 児	就 学 中					就 業 状 況		あ り	な し	同 居	別 居
					小 学	中 学	高 校	短 大 学 ・ 大 学 院	そ の 他	有 職	無 職				
第一子	1	2	歳	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	1	2
第二子	1	2	歳	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	1	2
第三子	1	2	歳	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	1	2
第四子	1	2	歳	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	1	2
第五子	1	2	歳	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	1	2

◆◆ご両親・きょうだいについてお伺いします。◆◆

Q9. ご両親はご健在ですか。ご健在の場合は現在の親御さんの年齢をご記入下さい。また、配偶者のいらっしゃる方は配偶者のご両親についてもお答え下さい。

お父様	1 ご健在 → _____歳 2 亡くなった
お母様	1 ご健在 → _____歳 2 亡くなった
配偶者のお父様	1 ご健在 → _____歳 2 亡くなった
配偶者のお母様	1 ご健在 → _____歳 2 亡くなった

Q10. あなたのごきょうだいはあなたご自身を含めて、男女それぞれ何人でしょうか。配偶者のごきょうだいは除いてお答え下さい。亡くなられたごきょうだいがおられる場合はそのごきょうだいも含めてお答え下さい。なお、いない場合は「0」とご記入下さい。

男のきょうだい _____人 (そのうち亡くなられた方 _____人)

女のきょうだい _____人 (そのうち亡くなられた方 _____人)

◆◆お仕事についてお伺いします。◆◆

Q11. あなたは、昨年1年間(平成16年1月～12月)で、何ヵ月、収入を伴う仕事(パート・アルバイトを含む)をしましたか。1ヵ月未満は切り上げて下さい。収入を伴う仕事をしていない方は「0」とご記入下さい。

カ月

Q12. あなたはふだん収入を伴う仕事(パート・アルバイトを含む)をしていらっしゃいますか。

- 1 している(休職中を含む) 2 していない → Q32(10ページ)へ

<仕事をしている方だけお答え下さい>

Q13. その仕事の内容は、次のどれでしょうか。出向・派遣・転籍をされている方は、出向先・派遣先・転籍先のお仕事をお答え下さい。

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1 商店、工場、農業などの自営業主 | → Q14(7ページ)へ |
| 2 家族従業(家業などの手伝い) | |
| 3 自由業(開業医・弁護士・著述業・個人教師など) | |
| 4 会社、団体などの役員 | |
| 5 正規従業員(公務員、学校、団体等も含む) | |
| 6 パート・アルバイト | |
| 7 嘱託 | |
| 8 派遣(登録型) | |
| 9 その他() | |

→SQ13-1. 勤め先の業種は、次のどれにあてはまりますか。

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 農林漁業 | 8 小売業、飲食店 |
| 2 鉱業 | 9 金融・保険業 |
| 3 建設業 | 10 不動産業 |
| 4 製造業 | 11 サービス業 |
| 5 電気・ガス・水道・熱供給業 | 12 公務 |
| 6 運輸・通信業 | 13 その他() |
| 7 卸売業 | |

→SQ13-2. 勤め先の従業員規模(支店や営業所、工場なども含む)はどのくらいですか。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 29人以下 | 5 1,000～4,999人 |
| 2 30～99人 | 6 5,000人以上 |
| 3 100～299人 | 7 官公営 |
| 4 300～999人 | 8 わからない |

→SQ13-3. 勤め先でのあなたの職種は、次のどれにあたりますか。

- | |
|-----------------------------|
| 1 課長相当職以上の管理職 |
| 2 専門職(勤務医師、裁判官、研究員、教師、記者等) |
| 3 技術職(技術者、システムエンジニア等) |
| 4 基幹的な事務職 |
| 5 定型的・補助的な事務職 |
| 6 販売・サービス職(販売員、理・美容師、ウェ이터等) |
| 7 技能職(技能工、職人) |
| 8 保安職 |
| 9 運輸・通信職 |
| 10 その他の職業() |

→SQ13-4. 勤め先でのあなたの役職は、次のどれにあたりますか。

- | | |
|----------------|------------|
| 1 部長相当職以上 | 4 係長・主任相当職 |
| 2 課長相当職 | 5 役職無し |
| 3 課長補佐・課長代理相当職 | 6 その他() |

→SQ13-5. あなたは、雇用契約の期間に定めがありますか。ある場合、その期間をご記入下さい。

- 1 ある → ()年()ヵ月の契約 2 ない(「定年まで」を含む)

→SQ13-6. 現在の勤め先でこの2年間(平成15年12月～平成17年11月)に転居を伴う転勤をしましたか。した場合にはその回数もご記入下さい。

- 1 した → ()回 2 しない

→SQ13-7. (7ページ)へ

→ SQ13-7. 現在の勤め先は次のどれにあたりますか。

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1 自分が就職した会社等である | → Q14へ |
| 2 就職した会社等から派遣されている、もしくは出向している | |
| 3 就職した会社等を退職して転籍した会社等である | |
| 4 定年後引き続き雇用されている会社等である | |

→ SQ13-8. 就職した会社等から派遣されている、もしくは出向している方にお伺いします。派遣元、出向元の企業の業種は次のどれにあたりますか。

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 農林漁業 | 8 小売業、飲食店 |
| 2 鉱業 | 9 金融・保険業 |
| 3 建設業 | 10 不動産業 |
| 4 製造業 | 11 サービス業 |
| 5 電気・ガス・水道・熱供給業 | 12 公務 |
| 6 運輸・通信業 | 13 その他 |
| 7 卸売業 | () |

→ SQ13-9. 出向元の企業全体の従業員規模(支店や営業所、工場なども含む)はどのくらいですか。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 29人以下 | 5 1,000～4,999人 |
| 2 30～99人 | 6 5,000人以上 |
| 3 100～299人 | 7 官公営 |
| 4 300～999人 | 8 わからない |

Q14. あなたの仕事の形態は、次のどれにあたりますか。A. B. それぞれについてお選び下さい。

A. 勤務日	1 週5日以上	2 週2～4日	3 1、2以外で定期的に	4 不定期に
B. 1日の勤務時間	1 普通勤務	2 短時間勤務	3 その他 ()	

Q15. 仕事の給与はどのような形で支払われていますか。

- | | | | | |
|------|------|------|------|-----------|
| 1 月給 | 2 週給 | 3 日給 | 4 時給 | 5 その他 () |
|------|------|------|------|-----------|

Q16. 仕事からの収入は平均するとおいくらですか。税引前の金額でお答え下さい。

所定内(残業代を除く) : 月・週・日・時(いずれかに○)あたり 平均 円

所定外(残業代を含む) : 月・週・日・時(いずれかに○)あたり 平均 円

Q17. 所定の労働時間及び労働日数はどのくらいですか。a～cそれぞれについてご記入下さい。

a. 1日 時間 b. 1週間 時間 c. 1カ月 日間

Q18. 平成17年11月の1カ月の労働時間(残業や休日労働、いわゆるサービス残業も含む)は、およそ何時間でしたか。ない場合は「0」とご記入下さい。

約 時間

Q19. 昨年(平成16年)の有給休暇の付与日数は何日でしたか。ない場合は「0」とご記入下さい。

日

Q20. 昨年(平成16年)あなたは有給休暇を何日取得しましたか。ない場合は「0」とご記入下さい。

日

Q21. 勤め先までの通勤時間はどのくらいですか。ない場合は「0」とご記入下さい。

約 分

Q22. 現在働いておられる理由をお選び下さい。(3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 働くのがあたりまえだから | 6 人間関係が広がるから |
| 2 家計維持のため | 7 充実感を味わいたいから |
| 3 家計補助のため | 8 社会の役にたちたいから |
| 4 自分の能力や知識を生かしたいから | 9 健康にいいから |
| 5 時間に余裕があるから | 10 その他 () |

Q23. 今後も、現在の仕事を続けたいとお考えですか。

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 できる限り続けたい | 5 辞めたい |
| 2 定年まで続けたい | 6 わからない |
| 3 独立したい | 7 その他 () |
| 4 他の勤め先に変わりたい | |

Q24. あなたは、何歳くらいまで仕事(収入を伴う)をすると考えていますか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1 _____ 歳くらいまで | 2 わからない |
|----------------|---------|

Q25. 現在、上でお答えいただいた仕事の他に、収入を伴う仕事をされていますか。

- | | |
|--------|----------------|
| 1 している | 2 していない → Q26へ |
|--------|----------------|

→ SQ25-1. どのような就業形態で働いておられますか。

- | | |
|--------|------------------|
| 1 自営業主 | 4 正規従業員 |
| 2 家族従業 | 5 パート・アルバイト・嘱託など |
| 3 自由業 | 6 その他 () |

<現在 60 歳以上の方だけお答え下さい> 60 歳未満の方はQ28へ

Q26. 現在、在職老齢年金を受給していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 受給している | 2 受給していない |
|----------|-----------|

Q27. 在職老齢年金の受給額を考慮して仕事の量や収入額を調整していますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 調整している | 2 調整していない |
|----------|-----------|

<仕事をしている方は全員お答え下さい>

Q28. 2年前(平成 15 年 12 月)も現在の勤め先(自営業等の場合には事業の内容等)と同じでしたか。

- | |
|-------------------------------------------------|
| 1 2年前も同じ勤め先(事業内容等)である → Q34 (11 ページ) へ |
| 2 2年前とは別の勤め先(別の事業内容等)に変わっている |
| 3 2年前には仕事をしていなかったが、この2年間で仕事に就いた → Q29 (9 ページ) へ |

<「2年前とは別の勤め先(自営業等の場合には別の事業内容等)に変わっている」方へ>

→ SQ28-1. 2年前の勤め先を辞めた(自営業等の場合には別の事業内容等)に変わったのはいつですか。

平成 _____ 年

→ SQ28-2. そのお仕事を辞めた理由をお選び下さい。(いくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 定年のため | 7 職場にいづらくなつたため |
| 2 転籍のため | 8 よりよい仕事へのキャリアアップのため |
| 3 早期退職優遇制度を利用して | 9 家庭の事情で |
| 4 倒産や人員整理のため | 10 健康上の理由で |
| 5 契約期間満了のため | 11 その他 |
| 6 会社や仕事に対する不満のため | () |

→ SQ28-3. 前の仕事を辞めた時に、失業給付(雇用保険の求職者給付)を受給しましたか。

- | | |
|--------|-----------|
| 1 受給した | 2 受給しなかった |
|--------|-----------|

→ SQ28-4(9 ページ)へ

→ SQ28-4. 2年前の勤め先(自営業等の場合には事業)を辞めた後、現在までに何か所の勤め先(事業)を経験されましたか。現在の仕事を含めてお答え下さい。なお、パート・アルバイト・嘱託等で働いた場合を含めて下さい。

カ所

→ SQ28-5. 現在の勤め先(自営業等の場合には事業)で仕事を始めたのはいつですか。

平成 _____ 年

→ SQ28-6. 現在の仕事や勤め先を選んだ理由をお選び下さい。(3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 自分の専門や技能が生かせる仕事だから | 9 転勤がないから |
| 2 仕事内容に興味があるから | 10 出世できそうだから |
| 3 安定性があるから | 11 有名な企業だから |
| 4 将来発展する可能性があるから | 12 組織に縛られないから |
| 5 収入がいいから | 13 家族に勧められて |
| 6 労働時間が短いから | 14 家業だから |
| 7 労働時間が自由になるから | 15 その他 () |
| 8 通勤に便利だから | |

→ SQ28-7. 前の仕事と比べて転職直後の1時間あたりの賃金はどのように変化しましたか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 3割以上の増加 | 4 1割以上3割未満の減少 |
| 2 1割以上3割未満の増加 | 5 3割以上の減少 |
| 3 1割未満の増減 | 6 わからない |

→ Q34(11ページ)へお進みください。

<「2年前は仕事をしていなかったが、この2年間で仕事に就いた」方へ>

Q29. この2年間(平成15年12月～平成17年11月まで)で何か所の勤め先(事業)を経験されましたか。現在の仕事を含めてお答え下さい。なお、パート・アルバイト・嘱託等で働いた場合も含めて下さい。

カ所

Q30. 現在の勤め先(自営業等の場合には事業)で仕事を始めたのはいつですか。

平成 _____ 年

Q31. 現在の仕事や勤め先を選んだ理由をお選び下さい。(3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 自分の専門や技能が生かせる仕事だから | 9 転勤がないから |
| 2 仕事内容に興味があるから | 10 出世できそうだから |
| 3 安定性があるから | 11 有名な企業だから |
| 4 将来発展する可能性があるから | 12 組織に縛られないから |
| 5 収入がいいから | 13 家族に勧められて |
| 6 労働時間が短いから | 14 家業だから |
| 7 労働時間が自由になるから | 15 その他 () |
| 8 通勤に便利だから | |

Q31の回答が終わった方はQ34(11ページ)へお進み下さい。

<現在仕事をしていない方だけお答え下さい>

Q32. 今後仕事に就くことについてどのようにお考えですか。

- | | |
|---|----------------|
| 1 | できるだけ早く仕事に就きたい |
| 2 | いずれ仕事に就きたい |
| 3 | 仕事に就くことは考えていない |
| 4 | わからない → Q33 へ |

→SQ32-1. 仕事に就くことは考えていない理由は何ですか。(いくつでも)

- | | | | |
|---|------------------|---|----------------------|
| 1 | 年金や退職金などで生活できるから | 5 | 今までの技能や知識が通用しなくなったから |
| 2 | 財産収入があるから | 6 | 適当な就職口が見つからないから |
| 3 | 子どもがめんどろをみてるから | 7 | 趣味や社会活動に専念したいから |
| 4 | 健康上の理由から | 8 | その他 () |

<「できるだけ早く仕事に就きたい」「いずれ仕事に就きたい」方へ>

→SQ32-2. どのような形で仕事をしたいですか。

- | | |
|---|----------------------------------------|
| 1 | 普通勤務で会社などに雇われたい |
| 2 | 短時間勤務(勤務日数が少ない、1日の労働時間が短い)で、会社などに雇われたい |
| 3 | 近所の人や会社などに頼まれて任意にする仕事をしたい |
| 4 | 自営業などを始めたい |
| 5 | 家業を手伝いたい |
| 6 | その他 () |

→SQ32-3. 仕事に就きたいのはなぜですか。(いくつでも)

- | | | | |
|---|------------------|---|--------------|
| 1 | 生活費を得るため | 5 | 生きがいや社会参加のため |
| 2 | 自由になるお金を得るため | 6 | 時間があるから |
| 3 | 健康にいいから | 7 | その他 () |
| 4 | 自分の技能や知識を生かしたいから | | |

→SQ32-4. 現在仕事を探したり、開業のための準備をいらっしゃいますか。

- | | | | |
|---|------|---|-------|
| 1 | している | 2 | していない |
|---|------|---|-------|

→SQ32-5. 仕事(収入を伴う)を始めた場合に、いつ頃まで働きたいと思いますか。

- | | | | |
|---|------------|---|--------|
| 1 | ____歳くらいまで | 2 | 考えていない |
|---|------------|---|--------|

<現在仕事をしていない方だけお答え下さい>

Q33. 2年前(平成15年12月)には仕事をしておられましたか。

- | | |
|---|-------------------------------------------|
| 1 | 2年前は仕事をしていましたが、現在は辞めた |
| 2 | 2年前は仕事をしておらず、現在も仕事をしていない → Q34 (11 ページ) へ |

→SQ33-1. 2年前に就いていた仕事を辞めたのはいつですか。

平成 ____ 年

→SQ33-2. そのお仕事を辞めた理由をお選び下さい。(いくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|----|--------------------|
| 1 | 定年のため | 7 | 職場にいづらくなったため |
| 2 | 転籍のため | 8 | よりよい仕事へのキャリアアップのため |
| 3 | 早期退職優遇制度を利用して | 9 | 家庭の事情で |
| 4 | 倒産や人員整理のため | 10 | 健康上の理由で |
| 5 | 契約期間満了のため | 11 | その他 () |
| 6 | 会社や仕事に対する不満のため | | |

→SQ33-3. 前の仕事を辞めた時に、失業給付(雇用保険の求職者給付)を受給しましたか。

- | | | | |
|---|------|---|---------|
| 1 | 受給した | 2 | 受給しなかった |
|---|------|---|---------|

◆◆定年についてお伺いします◆◆

Q34. この2年間(平成15年12月～平成17年11月)に定年退職もしくは早期退職優遇制度による退職を経験しましたか。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 定年退職を経験した |
| 2 | 早期退職優遇制度による退職を経験した |
| 3 | どちらも経験していない → Q35 (13 ページ) へ |

→ SQ34-1. それを経験したのは何歳のときですか。2回以上経験のある場合は1回目の退職年齢をご記入下さい。

歳

→ SQ34-2. 退職した勤め先の業種は次のどれにあてはまりますか。

- | | | | |
|---|---------------|----|---------|
| 1 | 農林漁業 | 8 | 小売業、飲食店 |
| 2 | 鉱業 | 9 | 金融・保険業 |
| 3 | 建設業 | 10 | 不動産業 |
| 4 | 製造業 | 11 | サービス業 |
| 5 | 電気・ガス・水道・熱供給業 | 12 | 公務 |
| 6 | 運輸・通信業 | 13 | その他 |
| 7 | 卸売業 | | () |

→ SQ34-3. 退職した勤め先の従業員規模(支店や営業所、工場なども含む)はどのくらいですか。

- | | | | |
|---|----------|---|--------------|
| 1 | 29人以下 | 5 | 1,000～4,999人 |
| 2 | 30～99人 | 6 | 5,000人以上 |
| 3 | 100～299人 | 7 | 官公営 |
| 4 | 300～999人 | 8 | わからない |

→ SQ34-4. 退職後、失業給付(雇用保険の求職者給付)を受給しましたか。

- | | | | |
|---|------|---|---------|
| 1 | 受給した | 2 | 受給しなかった |
|---|------|---|---------|

→ SQ34-5. 退職直後(退職後1年以内程度)のお仕事はどうされましたか。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 退職前に勤めていた会社等で再雇用又は勤務延長された |
| 2 | 退職前とは別の会社等に再就職した |
| 3 | 自分で仕事を始めた又は自営業に就いた |
| 4 | 仕事を辞めた → SQ34-8 (12 ページ) へ |

<「退職前とは別の会社に就職した」方へ>

→ SQ34-6. その仕事はどのようにして見つめましたか。

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 退職前に勤めていた会社等の紹介で |
| 2 | 知人や友人等の紹介で |
| 3 | 公共職業安定所等公共の機関の紹介で |
| 4 | 民間の職業紹介機関の紹介で |
| 5 | 自分で探して(広告等) |
| 6 | その他 () |

<定年退職直後に仕事をした方へ>

→ SQ34-7. 退職前の仕事に比べ賃金・所得(年収ベース)はどう変わりましたか。

- | | | | |
|---|-------------|---|-------------|
| 1 | 3割以上の増加 | 5 | 3割以上5割未満の減少 |
| 2 | 1割以上3割未満の増加 | 6 | 5割以上の減少 |
| 3 | 1割未満の増減 | 7 | わからない |
| 4 | 1割以上3割未満の減少 | | |

→ SQ34-8(12 ページ)へ

＜定年退職もしくは早期退職優遇制度による退職を経験した方へ＞

→ SQ34-8.退職した時に定年退職一時金(早期退職優遇制度による退職一時金を含む)を受け取りましたか。

- | |
|------------------------------|
| 1 受け取った |
| 2 受け取っていない → Q 35 (13 ページ) へ |

→ SQ34-9.その退職一時金はおいくらぐらいでしたか。金額をご記入下さい。

億 万円

→ SQ34-10.その退職一時金をどのように使いましたか。次の 1.~8.のうち、あてはまる用途をお選び下さい。(いくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 住宅ローンの返済に充当した | 6 日常生活費の足しにした |
| 2 不動産を購入した | 7 今後の生活の備えとして貯金した |
| 3 事業を始めた | 8 その他 |
| 4 旅行、レジャーに使った | () |
| 5 子どもの援助に使った | |

→ SQ34-11.次の 1.~8.のうち、退職一時金の用途として、最も額の大きな項目はどれですか。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 住宅ローンの返済に充当した | 6 日常生活費の足しにした |
| 2 不動産を購入した | 7 今後の生活の備えとして貯金した |
| 3 事業を始めた | 8 その他 |
| 4 旅行、レジャーに使った | () |
| 5 子どもの援助に使った | |

◆◆ 配偶者のいらっしゃる方に、配偶者のお仕事についてお伺いします ◆◆

配偶者がいらっしゃらない方はQ36(14 ページ)へ

Q35. 配偶者の方は、現在収入を伴うお仕事をしていますか。

1 している	2 していない	→ Q 36 (14 ページ) へ
--------	---------	---------------------

→ SQ35-1. 現在のお仕事に就いたのはいつですか。

昭和・平成（いずれかに○） _____ 年

→ SQ35-2. 仕事の内容は、次のどれでしょうか。

1 商店、工場、農業などの自営業主 _____	→ Q 36 へ (14 ページ)
2 家族従業（家業などの手伝い） _____	
3 自由業（開業医・弁護士・著述業・個人教師など） _____	
4 会社、団体などの役員 _____	
5 正規従業員（公務員、学校、団体等も含む） _____	
6 パート・アルバイト _____	
7 嘱託 _____	
8 派遣（登録型） _____	
9 その他（ _____ ） _____	

→ SQ35-3. 勤め先の業種は、次のどれにあてはまりますか。

1 農林漁業	6 運輸・通信業	11 サービス業
2 鉱業	7 卸売業	12 公務
3 建設業	8 小売業、飲食店	13 その他
4 製造業	9 金融・保険業	(_____)
5 電気・ガス・水道・ 熱供給業	10 不動産業	

→ SQ35-4. 勤め先の企業全体の従業員規模(支店や営業所、工場なども含む)はどのくらいですか。

1 29 人以下	4 300～999 人	7 官公営
2 30～99 人	5 1,000～4,999 人	8 わからない
3 100～299 人	6 5,000 人以上	

→ SQ35-5. お勤め先での職種は、次のどれにあたりますか。

1 課長相当職以上の管理職
2 専門職（勤務医師、裁判官、研究員、教師、記者等）
3 技術職（技術者、システムエンジニア等）
4 基幹的な事務職
5 定型的・補助的な事務職
6 販売・サービス職（販売員、理・美容師、ウェイトレス等）
7 技能職（技能工、職人）
8 保安職
9 運輸・通信職
10 その他の職業 (_____)

→ SQ35-6. お勤め先での役職は、次のどれにあたりますか。

1 部長相当職以上	4 係長・主任相当職
2 課長相当職	5 役職無し
3 課長補佐・課長代理相当職	6 その他 (_____)

◆◆あなたのご家庭の収入や支出についてお伺いします◆◆

Q36. 平成 17 年 11 月について、あなたのご家庭の収入(税込み)をご記入下さい。1ヵ月単位でなく
まとまって受け取る収入(2ヵ月分の年金、年俸等)については、1ヵ月分に換算してご記入下さい。

収入項目	収入金額
a. あなたの収入	1 ある→ () 万 () 千円 2 ない
b. 配偶者の収入	1 ある→ () 万 () 千円 2 ない
c. その他の収入 (仕送りや家計補助等)	1 ある→ () 万 () 千円 2 ない

Q37. 平成 17 年 11 月は、あなたのご家庭に、大きな臨時収入(退職一時金、不動産売却、相続等)
がありましたか。

1 あった	2 なかった
-------	--------

Q38. あなたのご家庭で共通の日常生活費(食費、光熱費、レジャー費等)で生活をしているご家族は
あなたを含めて何人ですか。

	人
--	---

Q39. あなたのご家庭の日常生活費はどなたが負担していますか。

1 あなた又はあなたがたご夫婦のみ	→ Q 40 へ
2 あなた又はあなたがたご夫婦と他の家族との共同	
3 あなた又はあなたがたご夫婦以外	→ Q 41 へ

→ SQ39-1. 日常生活費を主に管理しているのはどなたですか。

1 あなた又は配偶者	→ Q 40 へ
2 1. 以外	→ Q 41 へ

<Q39 で「1」と答えられた方、SQ39-1 で「1」と答えられた方だけお答え下さい>

Q40. 平成 17 年 11 月のご家庭全体の支出についてお答え下さい。

a. 消費 (生活費、レジャー費などの総額)	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
うちレジャー・交際費用	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
うち医療・介護関係費用	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
うち子ども関係費用 (教育費、仕送り)	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
b. 家賃	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
c. 貯蓄	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
d. ローンの返済	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
e. 保険料(個人年金保険を含む)	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
f. 税金(消費税は含まない)	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない
g. 社会保険料 (国民年金、厚生年金、公務員共済年金、 雇用保険、国民健康保険、健康保険、 介護保険料)	1 ある→ () 万 () 千円	2 ない

Q41. あなたのご家庭の日常生活費にお金を入れている方の中で最も収入の多い方はどなたですか。

1 あなた	5 同居の子ども(その配偶者を含む)
2 配偶者	6 別居の子ども(その配偶者を含む)
3 あなたの親	7 その他()
4 配偶者の親	

Q42. 平成17年11月に、日常生活費の他であなた又はあなた方ご夫婦に臨時の支出(不動産購入、家族の結婚、災害等)がありましたか。

1 あった

2 なかった

Q43. 昨年1年間(平成16年1月～12月)、あなたには、収入(退職金、不動産売却、相続を含む)がありましたか。あった場合はトータルでいくらでしたか。

1 あった

2 なかった

→ Q44 へ

→SQ43-1. 金額をご記入ください。

億								万円
---	--	--	--	--	--	--	--	----

→SQ43-2. 次の1～8のうちで、あなたの収入に含まれる項目の番号に○をつけ、その部分の金額をご記入下さい。

1 勤め先収入(税込み年収、ボーナス、賞与を含む) および事業収入(自営業の税込み年収)	→	□	億	□	万円
2 財産収入 (預貯金利子、株式配当、家賃等)	→	□	億	□	万円
3 公的年金 (国民年金、厚生年金、公務員共済年金)	→	□			万円
4 企業年金	→	□			万円
5 個人年金	→	□			万円
6 退職一時金	→	□	億	□	万円
7 不動産売却による収入	→	□	億	□	万円
8 相続による収入	→	□	億	□	万円

Q44. あなたは公的年金(国民年金、厚生年金、公務員共済年金)を受給していますか。
受給している場合は、受給開始時期をご記入下さい。

1 公的年金を受給している	→	受給開始は、昭和・平成(いずれかに○) ___年___月
2 公的年金の受給資格はあるが、受給していない(収入があるため受給できない場合を含む)		
3 公的年金の受給資格がない		

<配偶者のいらっしゃる方にお伺いします。>

配偶者のいらっしゃらない方はQ46へ

Q45. 昨年1年間（平成16年1月～12月）、あなたの配偶者は、収入（退職金、不動産売却、相続を含む）がありましたか。あった場合はトータルでいくらでしたか。

1 あった

2 なかった

→ Q46へ

→ Q45-1. 金額をご記入ください。

億					万円
---	--	--	--	--	----

→ Q45-2. 次の1～8のうちで、あなたの配偶者の収入に含まれる項目の番号に○をつけ、その部分の金額をご記入下さい。

1 勤め先収入（税込み年収、ボーナス、賞与を含む） および事業収入（自営業の税込み年収）	→		億		万円
2 財産収入 （預貯金利子、株式配当、家賃等）	→		億		万円
3 公的年金 （国民年金、厚生年金、公務員共済年金）	→				万円
4 企業年金	→				万円
5 個人年金	→				万円
6 退職一時金	→		億		万円
7 不動産売却による収入	→		億		万円
8 相続による収入	→		億		万円

◆◆あなたの貯蓄・不動産・借入金（ローン）についてお伺いします◆◆

Q46. あなた名義で次にあげる金融商品を持っていますか。（いくつでも）

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1 預金（普通、定期等） | 6 金銭信託、貸付信託 |
| 2 社内預金、財形貯蓄 | 7 一時払い養老保険 |
| 3 株 | 8 外貨建て資産（外貨預金、外貨建て債券） |
| 4 債券 | 9 その他（ ） |
| 5 投資信託 | 10 いずれも持っていない → Q48（17ページ）へ |

Q47. あなたの持っている金融商品のトータルの残高をご記入下さい。時価で概算して下さい。

億					万円
---	--	--	--	--	----

<配偶者のいらっしゃる方にお伺いします。>

配偶者のいらっしゃらない方はQ50へ

Q48. あなたの配偶者名義で、次にあげる金融商品を持っていますか。(いくつでも)

1 預金（普通、定期等）	6 金銭信託、貸付信託
2 社内預金、財形貯蓄	7 一時払い養老保険
3 株	8 外貨建て資産（外貨預金、外貨建て債券）
4 債券	9 その他
5 投資信託	()
	10 いずれも持っていない → Q50へ

Q49. 配偶者の持っている金融商品のトータルの残高をご記入下さい。時価で概算して下さい。

億					万円
---	--	--	--	--	----

Q50. あなたはどのような目的で貯蓄をしていますか。(3つまで)

1 住宅（土地を含む）の取得又は増改築などの資金にあてるため	7 5.6.以外の子どもへの援助
2 病気や不時の災害の時に備えるため	8 子どもや孫に残してあげたいから
3 老後の生活資金にあてるため	9 納税資金にあてるため
4 旅行・レジャーの資金にあてるため	10 特に目的はない
5 子どもの教育資金にあてるため	11 その他
6 子どもの結婚資金にあてるため	()

Q51. 毎年(毎月)の日常生活費に充てるため、自分自身の貯蓄(金融資産)を計画的に取り崩していますか。

1 現在そうしている
2 現在はそうしていないが、今後そのようにするつもりである
3 現在そうしていないし、今後もそのようにするつもりはない
4 わからない

Q52. a～hの金融商品をご存知ですか。それぞれについて、あてはまるものに○をつけて下さい。

	商品内容をよく知っている	商品内容をある程度知っている	名前ぐらいは知っているが、商品内容は知らない	そもそも、このような商品があることも知らない
a. 預金	1	2	3	4
b. 株式	1	2	3	4
c. 投資信託	1	2	3	4
d. 生命保険	1	2	3	4
e. 個人年金(終身年金)	1	2	3	4
f. 個人年金(確定年金)	1	2	3	4
g. 民間の医療保険	1	2	3	4
h. 民間の介護保険	1	2	3	4

Q53. a～hの商品それぞれに関する保有状況および保有意向について、あてはまるものに○をつけて下さい。

	保有している	現在保有していないが、将来保有したい	現在保有しておらず将来も保有する予定はない
a. 預金	1	2	3
b. 株式	1	2	3
c. 投資信託	1	2	3
d. 生命保険	1	2	3
e. 個人年金(終身年金)	1	2	3
f. 個人年金(確定年金)	1	2	3
g. 民間の医療保険	1	2	3
h. 民間の介護保険	1	2	3

Q54. a～d のそれぞれの項目について、あてはまると思われる番号に○をつけて下さい。(いくつでも)

a. 商品が複雑でわかりにくいものがありますか	1 預金 2 株式 3 投資信託 4 生命保険	5 個人年金の終身年金 6 個人年金の確定年金 7 民間の医療保険 8 民間の介護保険 9 1～8で複雑でわかりにくいものはない
b. 金融商品の内容について、知りたい(さらに知りたい)と思うものがありますか	1 預金 2 株式 3 投資信託 4 生命保険	5 個人年金の終身年金 6 個人年金の確定年金 7 民間の医療保険 8 民間の介護保険 9 1～8で知りたいものはない
c. 老後の金融商品として適切な商品だと思うものがありますか	1 預金 2 株式 3 投資信託 4 生命保険	5 個人年金の終身年金 6 個人年金の確定年金 7 民間の医療保険 8 民間の介護保険 9 1～8で適切な商品だと思うものはない
d. まとまった資金があるときに利用する商品だと思うものがありますか	1 預金 2 株式 3 投資信託 4 生命保険	5 個人年金の終身年金 6 個人年金の確定年金 7 民間の医療保険 8 民間の介護保険 9 1～8で利用すると思うものはない

Q55. まとまった資金を貯蓄したり、運用する場合に、あなたはどのような考え方や行動をとりますか。a～jのそれぞれについて、あてはまるものに○をおつけ下さい。

	いつも そうする	時々 そうする	あまり そうしない	全く そうしない
a. 利用する金融機関の経営状態を気にする	1	2	3	4
b. 一度預けた金融商品は容易に預け替えない	1	2	3	4
c. マネー雑誌などの記事で貯蓄や投資の情報を積極的に集める	1	2	3	4
d. 規模の大きな金融機関を利用する	1	2	3	4
e. 預金だけでなく、有価証券などいろいろな商品に分散させる	1	2	3	4
f. 目的に応じて金融機関を使い分ける	1	2	3	4
g. 貯蓄や投資について、金融機関に相談したり、アドバイスを求める	1	2	3	4
h. 家や職場に近い金融機関を利用する	1	2	3	4
i. 元本割れをするリスクがあっても、大きなリターンを狙う	1	2	3	4
j. 生涯を見据えて、長期的な観点から、運用・投資を考慮する	1	2	3	4

Q56. あなた又はあなたがたご夫婦は、土地や家などの不動産をお持ちですか。

- 1 持っている 2 持っていない → Q57へ

SQ56-1. それを今売るとした場合の価格は、およそいくらぐらいと思われますか。

億 万円

SQ56-2. 最近リバース・モーゲージという新しい制度が実施されています。これは、ご自分の持ち家に住み続けたまま、それを担保にして老後の生活費や介護費用などの資金を得ることができる制度です。この制度について、あなたの利用状況や利用意向をお答え下さい。

- 1 現在利用している → Q57へ
 2 現在利用していないが、今後は利用したいと思っている
 3 現在利用していないし、今後も利用したいと思わない
 4 わからない

SQ56-3. 利用したいと思わない理由をお選びください。(いくつでも)

- 1 老後における日常の生活費は十分であるため
- 2 持ち家は子どもにすべて相続させたいと思っているため
- 3 制度が信頼できないため
- 4 制度の内容が複雑で理解できないため
- 5 持ち家の担保価値が十分でないため
- 6 現在の持ち家に住み続けようとは思わないため
- 7 その他 ()

Q57. あなた又はあなた方ご夫婦は、現在、住宅ローンがありますか。ある場合は、現在の残高、年間の返済額をご記入下さい。年間の返済額は月々の分とボーナス時の返済を合計した金額をご記入下さい。

1 住宅ローンがある →	残高 () 億 () 万円
2 住宅ローンがない	年間返済額 () 億 () 万円

◆◆あなたの老後の生活設計についてお伺いします◆◆

(ここでいう老後とは、およそ65歳以上での生活を指しており、お子様がいらっしゃる場合は、そのお子様が独立された後の生活をいいます。なお、既に「老後」に入っておられる方も、今後の生活についてお答えください)

Q58. あなた又はあなたがたご夫婦は、老後の生活費として、毎月最低どれくらい必要だと思えますか。また、「ゆとりある老後の生活」を実現するためには、それに加えて、あとどれくらい必要だと思えますか。現在の物価水準でお答え下さい。

- a. 最低必要な生活費 月額 () 万円ぐらい
 + b. ゆとりの資金 月額 () 万円ぐらい

Q59. あなた又はあなたがたご夫婦の老後の生活資金源として、a~gにあげるものが見込めますか。また見込める場合、予想される収入は月額でどれくらいとお考えですか。

老後生活の資金源	老後生活資金源として見込めますか		見込める場合の予想される金額(月額ベース)
a. 公的年金	1 見込めない	2 見込める →	万円
b. 企業年金	1 見込めない	2 見込める →	万円
c. 個人年金	1 見込めない	2 見込める →	万円
d. 勤め先収入・事業収入	1 見込めない	2 見込める →	万円
e. 財産収入(利子、配当、家賃等)	1 見込めない	2 見込める →	万円
f. 仕送り収入	1 見込めない	2 見込める →	万円
g. その他	1 見込めない	2 見込める →	万円

Q60. 老後の生活を送っていくための経済的な備えは十分であるとお考えですか。

- | | |
|------------|---------|
| 1 十分である | → Q61 へ |
| 2 まあ十分である | |
| 3 やや不十分である | |
| 4 不十分である | |

→ **SQ60-1. どのような点で不十分だとお考えですか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけて下さい。**

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 基本的な生活費が十分に確保できていない |) |
| 2 ゆとりある生活のための資金が十分に確保できていない | |
| 3 病気で寝たきりになった場合など、万一の場合の保障が十分でない | |
| 4 その他 (| |
| 5 わからない | |

→ **SQ60-2. 経済的な備えを十分なものにするために、現在、何かお考えになっていることがありますか。(いくつでも)**

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1 今のうちに貯蓄を増やす |) |
| 2 今のうちに個人年金に加入する | |
| 3 病気や寝たきりになった場合に備えて、保険に加入する | |
| 4 定期的な収入を得るため、手持ちの不動産を担保に融資を受ける | |
| 5 定期的な収入を得るため、手持ちの不動産を売却(賃貸)する | |
| 6 老後も働き続ける | |
| 7 子どもなどから仕送りを受ける | |
| 8 その他(具体的に | |
| 9 特に考えていることはない | |

Q61. 老後生活の経済面で気がかりなことがありますか。(いくつでも)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 インフレで貯蓄などが目減りしないか |) |
| 2 利息収入や配当収入が期待通りになるか | |
| 3 子どもからの援助が期待できるか | |
| 4 公的年金が十分頼りになるか | |
| 5 退職金や企業年金が十分頼りになるか | |
| 6 老後も働き続けられるか | |
| 7 長い老後生活の中で、貯蓄が底をつくのではないか | |
| 8 お金を預けている金融機関の経営状況が悪化しないか | |
| 9 その他 (| |
| 10 特に気がかりはない | |

Q62. 老後の生活に関する意見で、あなたのご意見に最も近いものに○をつけて下さい。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 老後の生活は社会保障費の負担が増えても国や行政が保障すべきだ |) |
| 2 社会保障費の負担は増やさず家族で対応すべきだ | |
| 3 社会保障費の負担は増やさず本人が対応すべきだ | |
| 4 その他 (| |

Q63. あなたは、老後の生活の中心をどのようなことにおきたいですか。

- | | |
|----------|---|
| 1 家族との生活 |) |
| 2 仕事 | |
| 3 趣味など | |
| 4 社会貢献 | |
| 5 その他 (| |

◆◆ご家族関係についてお伺いします◆◆

Q64. あなたが次にあげる方々のうち、「家族」と考える方すべてに○をつけて下さい。(いくつでも)

1 配偶者	8 同居している自分のきょうだい
2 同居している子ども	9 別居している自分のきょうだい
3 別居している子ども	10 同居している配偶者のきょうだい
4 同居している自分の親	11 別居している配偶者のきょうだい
5 別居している自分の親	12 あなたのみ → Q66へ
6 同居している配偶者の親	13 その他
7 別居している配偶者の親	()

<Q64で「12. あなたのみ」とお答えになった方以外の方だけお答え下さい。>

Q65. あなたのご家族について、次のa~jそれぞれにあてはまるものを選んで下さい。

	そのとおりである	どちらかといえばそうである	どちらともいえない	どちらかといえばそうでない	そうではない
a. 主導権を持っているのは、特定のものである	1	2	3	4	5
b. 家庭の中で決まりは多い	1	2	3	4	5
c. 話し合う話題はほぼ決まっている	1	2	3	4	5
d. 家族で計画を立てたら、多少無理をしてでも実行する	1	2	3	4	5
e. 各自の役割は固定している	1	2	3	4	5
f. 自分たちにとって、家族の絆はどんな友人関係よりも大切である	1	2	3	4	5
g. 家族でお互い助け合うことが多い	1	2	3	4	5
h. 個人の問題も家族の中で相談して決めることが多い	1	2	3	4	5
i. 自由時間の多くの部分を家族で一緒に過ごしている	1	2	3	4	5
j. 家族の伝統や習慣を守っていくという傾向は強い	1	2	3	4	5

<配偶者のいらっしゃる方だけお答え下さい。>

配偶者のいらっしゃらない方はQ70(22 ページ)へ

Q66. あなたと配偶者との間でよく取り上げる話題は何ですか。(いくつでも)

1 子どものこと	7 配偶者の仕事や職場のこと
2 親のこと	8 将来の生活設計のこと
3 友人のこと	9 地域社会、隣近所のこと
4 趣味や遊び	10 政治や社会一般のこと
5 家計のこと	11 その他
6 あなたの仕事や職場のこと	()

Q67. あなたは配偶者との意思疎通が十分にできていると思いますか。

1 非常によくできている	3 あまりできていない
2 まあできている	4 ほとんどできていない

Q68. あなたは配偶者に対して、どのような役割を求めていますか。(3つまで)

1 子どもにとっての母親	6 あなたの心の支えとなる役割
2 ○○家の嫁としての役割	7 苦楽を共にする伴侶としての役割
3 家族の中心としての役割	8 友人としての役割
4 家計を担う役割	9 性的パートナーとしての役割
5 自分の身の回りの世話をする役割	10 その他 ()

Q69. 配偶者はあなたに対して、どのような役割を求めていますか。(3つまで)

1	子どもにとっての父親としての役割	6	苦楽を共にする伴侶としての役割
2	一家の大黒柱としての役割	7	友人としての役割
3	家計を支える役割	8	性的パートナーとしての役割
4	家事などを分担する役割	9	その他
5	配偶者の心の支えとなる役割		()

◆◆あなたの人間関係についてお伺いします◆◆

Q70. あなたには、同居のご家族以外で、日頃から何かと頼りにしている方がいらっしゃいますか。

a~dそれぞれについてお答えいただき、いらっしゃる場合は、その人数もご記入下さい。

a. 別居の親類の方（両親も含む）で頼りにしている方

1	いる → () 人	2	いない
---	------------	---	-----

b. 職場の方（同僚、上司、部下など）で頼りにしている方

1	いる → () 人	2	いない
---	------------	---	-----

c. 近所の方で頼りにしている方

1	いる → () 人	2	いない
---	------------	---	-----

d. 友人などで頼りにしている方

1	いる → () 人	2	いない
---	------------	---	-----

Q71. あなたは、a~fのような場合、同居のご家族以外で主にどなたに頼んだり、相談したりなさいますか。想定でも結構ですから、あてはまる項目を選んで下さい。(いくつでも)

	別居してはいる 親または子	それ以外の 親族	職場の 人	近所の 人	その他の友人	いない
a. 一週間くらい家を空けるときの郵便物や宅配便の受け取りを頼める相手	1	2	3	4	5	6
b. 家族が一ヵ月入院したとき、手伝いを頼める相手	1	2	3	4	5	6
c. 借金や資産運用などについて相談する相手	1	2	3	4	5	6
d. 子どもの教育や老後の問題などについて相談する相手	1	2	3	4	5	6
e. 個人的な悩み事を相談する相手	1	2	3	4	5	6
f. 気楽におしゃべりをしたり気晴らしをする相手	1	2	3	4	5	6

Q72. あなたは、別居している家族や親族から、次のようなことを頼まれることがありますか。(いくつでも)

1	介護が必要な時の手伝い	4	その他 ()
2	家事援助	5	特にない
3	経済的な援助		

Q73. あなたは次あげる団体・組織に加入していますか。a～mのそれぞれについて「非加入」、「加入」、「加入して積極的に参加」の中から1つずつ選んで下さい。

	非加入	加入	加入して積極的に参加
a. 町内会・自治会	1	2	3
b. P T A	1	2	3
c. 氏子会	1	2	3
d. 消費者団体	1	2	3
e. 老人会・老人クラブ	1	2	3
f. 宗教団体	1	2	3
g. 商店会・同業組合	1	2	3
h. 労働組合	1	2	3
i. ボランティア組織	1	2	3
j. 住民運動団体	1	2	3
k. 趣味やスポーツのサークルや団体	1	2	3
l. 政党・政治家後援会	1	2	3
m. 会社のOB会	1	2	3

◆◆あなたの健康、生活意識・価値観等についてお伺いします◆◆

Q74. あなたの健康状態は次のうちどの状態に近いですか。

1 健康	3 あまり健康でない
2 どちらかといえば健康	4 健康でない

Q75. 次あげる事項について、あなたはどの程度満足していますか。a～qのそれぞれについてあてはまるものを選んで下さい。

	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない	該当しない
a. 配偶者との関係	1	2	3	4	5	6
b. 子どもとの関係	1	2	3	4	5	6
c. 自分の親との関係	1	2	3	4	5	6
d. 配偶者の親との関係	1	2	3	4	5	6
e. 友人関係	1	2	3	4	5	—
f. 近所づきあい	1	2	3	4	5	—
g. 現在の収入	1	2	3	4	5	—
h. 現在の貯蓄	1	2	3	4	5	—
i. 将来への備え	1	2	3	4	5	—
j. 住生活	1	2	3	4	5	—
k. 余暇生活	1	2	3	4	5	—
l. 自分の仕事	1	2	3	4	5	6
m. 働いている職場	1	2	3	4	5	6
n. 自分の健康	1	2	3	4	5	—
o. 家族の健康	1	2	3	4	5	6
p. 自分の社会的地位	1	2	3	4	5	—
q. 生活全般	1	2	3	4	5	—

Q76. 次にあげる事項について、あなたはどの程度不安を感じますか。a～m それぞれについて、あてはまるものを選んで下さい。

	非常に不安	やや不安	あまり不安ではない	不安はない
a. 自分の死亡によって家族に負担がかかること	1	2	3	4
b. 自分が病気や事故にあうこと	1	2	3	4
c. 家族が病気や事故にあうこと	1	2	3	4
d. 自分の介護が必要になること	1	2	3	4
e. 親の介護が必要になること	1	2	3	4
f. 配偶者の介護が必要になること	1	2	3	4
g. 老後の生活が経済的に苦しくなること	1	2	3	4
h. 自分または家族が失業すること	1	2	3	4
i. 住宅などのローン返済で、生活が苦しくなること	1	2	3	4
j. 十分な資産が蓄えられないこと	1	2	3	4
k. 情報化や技術進歩についていけなくなること	1	2	3	4
l. 家族のまとまりがなくなったり、対立したりすること	1	2	3	4
m. 友人関係がうまくいかなくなること	1	2	3	4

Q77. 現在、あなたは以下のような症状がありますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。
あてはまるものがない人は、18に○をつけて下さい。(いくつでも)

1 よくめまいがする	10 よく胃腸の具合がわるくなる
2 頭痛や頭が重い感じがする	11 全身がだるく疲れやすい
3 血圧が高い	12 朝起きたとき気分がすぐれないことが多い
4 坂道や階段を上ると息切れがする	13 夜、気が立って眠れないことが多い
5 胸痛や胸をしめつけられる感じがする	14 憂鬱な気分がする
6 腰痛を起こしやすい	15 なんとなくイライラする
7 肩こりが激しい	16 生活にハリを感じない
8 よく下痢をする	17 すぐ気力がなくなる
9 風邪をひきやすい	18 あてはまるものはない

Q78. あなたは何をしているときに生きがいを感じますか。(いくつでも)

1 仕事に打ち込んでいるとき	6 何もしないでのんびりと過ごしているとき
2 ボランティア活動をしているとき	7 親しい友人と話をしているとき
3 地域活動に参加しているとき	8 その他
4 趣味など自分の好きなことをしているとき	()
5 家族と団らんの時を過ごしているとき	9 生きがいを感じることはない

Q79. あなたの生活意識や価値観についてお伺いします。a~xそれぞれについて、最も近いと思われるものを選んで下さい。

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
a. 親はできる限り子どもに頼らずに暮らすべきだ	1	2	3	4	5
b. 親の面倒は長男がみるべきである	1	2	3	4	5
c. 妻の親も、夫の親も分け隔て無く面倒をみるべきだ	1	2	3	4	5
d. 女性は結婚したら家庭を守ることに専念するのがよい	1	2	3	4	5
e. 自分を犠牲にしても家族のためならつくしたい	1	2	3	4	5
f. 子どもの教育のためには、できるだけお金をかけたい	1	2	3	4	5
g. 親子のつきあいも友人のような関係でありたい	1	2	3	4	5
h. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
i. 子どもは老いた親の面倒をみる方がよい	1	2	3	4	5
j. 夫も家事や育児を分担すべきだ	1	2	3	4	5
k. 夫婦は何があっても離婚しない方がよい	1	2	3	4	5
l. 子どもには家を継ぐという役割がある	1	2	3	4	5
m. 自分の考えを主張するより、他の人との和を尊重したい	1	2	3	4	5
n. いろいろな考えの人と広くつき合いたい	1	2	3	4	5
o. 時代の変化に取り残されないよう努力したい	1	2	3	4	5
p. 将来をいろいろと考えるより、現在の生活を大切にしたい	1	2	3	4	5
q. たとえ単調でも、安定している生活の方がよい	1	2	3	4	5
r. 日々の生活費を切りつめてでも将来の生活に備えたい	1	2	3	4	5
s. 仕事のためには家庭生活が犠牲になることもやむをえない	1	2	3	4	5
t. 会社は従業員の生活を守るべきだ	1	2	3	4	5
u. 従業員は会社の発展に貢献すべきである	1	2	3	4	5
v. 退職した後も勤め先との関係を保ち続けたい	1	2	3	4	5
w. たとえどんな仕事でも上司の命令にはしたがうべきだ	1	2	3	4	5
x. いわゆる年功賃金体系よりも実績に応じた賃金体系の方がよいと思う	1	2	3	4	5

Q80. あなたの生活の程度は、世間一般から見て、次の中ではどれにあてはまると思われますか。

1 上	2 中の上	3 中の中	4 中の下	5 下
-----	-------	-------	-------	-----

Q81. あなたの政治的態度的についてお伺いします。あなたは次のどれに近いですか。

1 保守である	4 やや革新である
2 どちらかと言えば保守である	5 革新である
3 どちらでもない	

Q82. あなたは政治について関心をおもちですか。もっとも近いものを選んで下さい。

1 関心がある	4 あまり関心がない
2 少し関心がある	5 まったく関心がない
3 どちらでもない	

Q83. 次にあげる公的な制度を、あなたはどの程度頼りにしていますか。近いものをお選び下さい。

	頼りにも して いる	頼りま あ ま あ に し て い る	頼りあ ま り に し て い ない	頼り全 く に し て い ない	よくわ か ら な い
a. 公的介護保険制度	1	2	3	4	5
b. 公的年金制度 (国民年金、厚生年金等)	1	2	3	4	5
c. 健康保険制度 (国民健康保険、組合健康保険等)	1	2	3	4	5

Q84. あなたは、a～iにあげる情報機器・サービスを利用していますか。利用している場合、仕事とプライベートのどちらで利用していますか。

		仕事とプラ イベート両 方で利用	仕事だけ で利用	プライベート だけで利用
a. パソコン	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
b. ワープロ	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
c. 留守番電話	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
d. 携帯電話 (携帯電話・PHS)	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
e. ファックス	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
f. 携帯情報端末 (ザウルス等のPDA、電子手帳)	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
g. ポケベル	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
h. インターネット (www、ニュースネット)	1 利用している 2 利用していない	1	2	3
i. e-mail (電子メール)	1 利用している 2 利用していない	1	2	3

Q85. あなたは、老後のことを考えて経済的な生活設計をたてていますか。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 生活設計をたてている |
| 2 | 現在生活設計をたてていないが、今後はたてるつもりである |
| 3 | 現在生活設計をたてていないし、今後もたてるつもりはない |

→ SQ85-1. 老後の経済的な生活設計として、具体的にどのようなことを考え、どのような行動をとりましたか。次にあげる中からあてはまるものをお選びください。(いくつでも)

- | | |
|---|---------------------------------------------------------------|
| 1 | 老後にどのような生き方をしたいかについて考え、それをもとに経済的な生活設計をたてた |
| 2 | 老後生活においても現在の居住地に住み続けるか、あるいは別の居住地(自分の故郷や子ども等の近く等)に引越すかについて検討した |
| 3 | あなた又は配偶者が要介護状態になった時の対応(住宅の改造、子ども等との同居、介護施設への入所等)について検討した |
| 4 | 資産を子ども等に残したいか、残せるかについて考えた |
| 5 | 老後生活の収入(公的年金や私的年金の給付額等)や支出を把握した |
| 6 | 資産の効率的な運用方法(貯蓄や投資等)について検討した |
| 7 | 支出内容の見直しを図った |
| 8 | 老後生活の収入を増やす方策(老後も働く等)について考えた |
| 9 | その他 () |

◆◆調査期間における変化や出来事についてお伺いします◆◆

Q86. 第1回調査があった平成9年に比べて、あなたの生活は全体的に見てどのように変化したと実感されていますか。最も良い方向に変化したと思う場合は「+3」、最も悪い方向に変化したと思う場合は「-3」、変わらない場合は「0」として、あてはまる数値を選び、○をつけてください。

-3	-2	-1	0	+1	+2	+3
←悪い方向へ変化				→良い方向へ変化		
				→ Q87(28 ページ)へ		

<Q86 で「0」以外を選んだ方にお伺いします。>

SQ86-1. その変化の要因として、最も大きいものは何ですか。

- | | | | |
|---|--------------------|----|---------------|
| 1 | 自分の健康状態の変化 | 7 | 家計(収支や貯蓄等)の変化 |
| 2 | 家族の健康状態の変化 | 8 | 仕事の状況の変化 |
| 3 | 家族の増減(誕生・離別・死別・独立) | 9 | 余暇の過ごし方の変化 |
| 4 | 家族との人間関係の変化 | 10 | 住まいの状況の変化 |
| 5 | 友人との人間関係の変化 | 11 | 社会・経済情勢の変化 |
| 6 | 近所との人間関係の変化 | 12 | その他 () |

Q87. 第1回調査(平成9年)から現在まで、社会では次あげるような出来事がありました。これらの出来事があったことを、あなたは知っていますか。知っている場合、これらの出来事があなたご自身にとってどの程度の影響がある(あった)と思いますか。a~g それぞれについて、あてはまるものを選んで下さい。

	知らない	知っている	ご自身への影響			
			影響は大きい	影響は小さい	特に影響はない	わからない
a. 公的年金制度が改革された(年金水準抑制、部分年金の支給開始年齢引き上げ、総報酬制の導入等) - 平成12年成立	1	2	1	2	3	4
b. 公的介護保険制度がスタートした - 平成12年	1	2	1	2	3	4
c. 医療保険制度が改革された(老人保健制度の適用年齢引き上げ、健康保険の自己負担率引き上げ等) - 平成14年	1	2	1	2	3	4
d. 老人マル優への新規預け入れができなくなった - 平成15年	1	2	1	2	3	4
e. 公的年金制度が改革された(保険料水準の上限固定、マクロ経済スライド、離婚時の年金の分割等) - 平成16年成立	1	2	1	2	3	4
f. 65歳以上を対象とした税制優遇が小さくなった(老年者控除の廃止、公的年金等控除の縮小) - 平成17年	1	2	1	2	3	4
g. ペイオフが解禁された - 平成17年	1	2	1	2	3	4

*** ご協力ありがとうございました。***